

2021 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第5戦

第53回 MFJ グランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿 JSB1000 結果報告

- 第5戦 三重県 / 鈴鹿サーキット
- 開催日 2021年7月17日~18日
- チーム名 EVA RT 初号機 Webike TRICKSTAR



ライダー	予選 (レース1/レース2)	レース1	レース2
#31 大久保 光	12位 / 10位	9位	10位

普段電気バイクを駆り MotoE で戦う大久保選手にとってこのレースウィークが今年初のエンジン車でのレースとなった。そんな中、チームはタイヤメーカーをブリヂストンタイヤに変更。今回のウィークが初乗りとなり、手探りの状態からウィークをスタートしました。

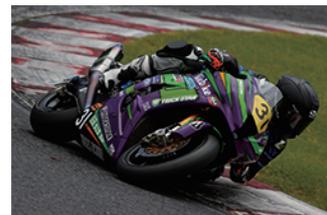
木曜日、金曜日の公式練習ではブリヂストンタイヤでのデータが何も無い0の状態からセットアップを始めていきました。順位やタイムこそ振るわなかったものの、翌日に控えた予選、決勝に向けて着実に仕事を進めていきました。

17日 / 予選 12位 タイム 2分08秒796

前日の公式練習から更にセッティングを変更して挑んだ公式予選、40分間の予選ではまだまだセットアップの時間が足りない大久保選手は予選前半はセットアップに集中すると割り切りコースイン。1周目から前日までのベストタイムと同等のタイムを記録する、さらに大幅にタイムを詰めるものの赤旗で一時中断となる。

赤旗から予選が再スタートすると、少し遅れてコースイン。クリアラップを確保して単独へのタイムアタックへと入る。大久保選手は前日までのタイムを約2秒更新する2分09秒3を記録する。そこから更にセクター1でタイムを詰めていくが、2度目の赤旗により再度、予選が中断となる。

予選再開と共にタイヤを新品に履き替えて最後のタイムアタックへと入る、赤旗中断前のベストタイムのペースを大幅に更新するペースでセクター1、セクター2を通過。その後ヘアピンで小さなミスがあったものの、チームベストを更新する2分08秒796を記録して12位で予選を終える。



17日 / レース1 9位

レース1はドライコンディションの中14周で行われました。

4列目右側の12番グリッドから好スタートをきった大久保選手は3ポジションアップの9位で1周目を終える。

2周目、3周目と一つずつポジションを落として11位となるが4周目に上位の選手の転倒とマシントラブルによるスローダウンがあり9位にポジションを上げる。この上位選手の転倒によりレースにセーフティーカーが介入となる。3周のセーフティーカーランの後に残り周回数6周にて再開となる。

レース再開後#13号車との激しい8位争いとなるが最終的にシングルフィニッシュとなる9位でレースを終える。



18日 / レース2 10位

前日のレース1で出た問題点を修正してレース2に臨みました。レース2に向けての大きな変更点はフューエルタンクの変更です。前日までは耐久タンクを使用していましたがポジション改善の参考にするため、ノーマルタンクを使用してレース2を走ります。

レース2はレース1同様ドライコンディションの中、レース1より2周多い16周で行われました。

まずまずのスタートを切り11位で1コーナーに進入し、持ち前の1周目の速さを活かして8位で1周目を終える。

2周目、3周目と思うようにペースが上がらず12位までポジションを落としてしまう。

5台での10位争いとなり6周目には再び集団の先頭10位までポジションを挽回したものの10周目にはタイヤ温存&体力温存のために一旦集団の後方14位まで順位を落とす。

ラスト5周に入った所で再びペースを上げ12位に、ラスト4周で再び集団のトップ10位までポジションを上げる最後はレース1同様に#13号車とのバトルとなり0.070秒の僅差で勝利し、10位でチェッカーを受ける。



大久保 光選手コメント

今回は、鈴鹿 8 耐を見据えた参戦となりましたがレースウィークを通して様々なことを試す事ができたのでレースの結果以上に得れたものは大きいと思いました。

私自身も久しぶりの全日本ロードレースへの参戦でしたが、チームスタッフをはじめとする関係者の皆様のおかげでしっかりアジャストしていくことができたと思います。

ほぼ初めてとなる 1000cc でのスプリントレース、またレースウィークから初めて一緒にレースをするチームとバイクに正直不安はありましたがチームの皆様がサポートしてくれたお陰で素晴らしいレースウィークとなりました。

予選ではチームと話していた目標タイムである 2 分 8 秒台を達成し、2 分 8 秒 7 までタイムをつめることができました。

レース 1、レース 2 ともにレギュラー参戦ライダーと戦う事で自分のバイクの良いところや、負けているところがとても良く分析することができ、鈴鹿 8 耐に向けたデータをしっかりと取得することができました。

次回の 8 耐テストまでに多くの課題を作ることができましたので、その課題を解決することで鈴鹿 8 耐では更に飛躍した走りを皆様にお見せすることが出来ると思います。

最後になりますがチーム、スポンサーの皆様、ファンの皆様、本当にありがとうございました。

鶴田竜二 監督コメント

チームとしては、久しぶりの全日本ロードレース選手権に参戦となりました。今回、大久保選手を起用させて頂き、当初の目標であるトップ 10 以内完走と、ベストタイムを 2 分 8 秒台に乗せると言うミッションは達成されチーム的には非常に良い結果を得られたと感じております。

はじめは彼自身 JSB1000 クラスでのレース参戦経験が少ないので、若干の心配はありましたがレース 1 を終了した時点でそれはクリアとなりました。

もともと鈴鹿 8 時間耐久ロードレースへの参戦を目指して彼にオファーをさせていただきましたので、8 時間耐久レースに向けて良いデータが取れ、良い形で準備に移る事が出来ます。

また今回から私達をサポートして頂ける事となったブリヂストンタイヤの影響は大きかったです。とても助かりました。

今回の私達のレースに携わった全ての皆様に、とても感謝しております。

まだまだ新型コロナウイルス感染の問題で大変な世の中ですが、こうしてレースが行えた事に感謝しつつ、私達が出来た事をしっかりと考え取り組んで参りたいと思います。

